

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（地理）【解答例】

受験校種	高・特	教科科目	地 理						得 点	
------	-----	------	--------	--	--	--	--	--	--------	--

## 1 (80点)

問1	(1)	ア		(2)	エ		(3点×2)	
	(3)	ア		(3点)				
	(4)	①	石灰岩		②	溶食		(4点×2)
	(5)	イ		(3点)				
	(6)	台風 (タイフーン)					(4点)	
	(7)	記号	イ				(4点)	
		フランスパンを販売していることから、旧宗主国であるフランスの食文化の影響がみられる。						(8点)
	(8)	オ		(4点)				
問2	(1)	カ		(2)	ア		(4点×2)	
	(3)	ブミプトラ政策					(4点)	
問3	(1)	ウ		(4点)				
	(2)	1970年代以降は合成ゴムの普及で価格が低迷する天然ゴムから油やしへの転換が進んだ。 その背景には油やしからとれるパーム油の需要の増加がある。					(8点)	
	(3)	イ		(4点)				
	(4)	ASEAN 経済共同体 (AEC)					(4点)	
問4	(1)	ウ		(2)	イ		(4点×2)	

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校（地理）【解答例】

受験校種	高	教科科目	地 理						得 点	
------	---	------	--------	--	--	--	--	--	--------	--

## 2 (30点)

(1)	A	沖合を流れる寒流のペルー海流の影響により、海水温が低く水蒸気量が少ないこと、地表付近の大気が冷やされ上空よりも気温が低くなる大気の逆転現象により上昇気流が発生しにくいことなどにより乾燥する。	(5点)
	B	太平洋からの湿った偏西風がアンデス山脈の西側に降水をもたらし、風下側にあたるパタゴニアではフェーン現象により乾燥した下降気流が吹き付けるため砂漠となる。	(5点)
	C	北回帰線付近に位置し、年中亜熱帯高圧帯の勢力下にあるため常に下降気流が卓越し、雲が発生しにくいいため乾燥する。	(5点)
	D	大陸の内陸部に位置することにより隔海度が大きいうえ、周囲を高い山脈に囲まれているため、海からの水蒸気を含んだ気流が届かずに砂漠となる。	(5点)
(2)		サハラ砂漠南縁のサヘルでは、人口増加が著しく、それに伴って薪炭材の確保のための樹木の過伐採や、家畜飼育頭数が増えたことによる過放牧によって植生が破壊されて、砂漠化が進行している。	(10点)

令和6年度 教科専門試験 高等学校（地理）【解答例】

受験校種	高	教科科目	地 理						得 点	
------	---	------	--------	--	--	--	--	--	--------	--

3 (30点)

(1)		<p>製鉄に必要な鉄鉱石や石炭は重量減損原料であり、初期の製鉄業は主要な鉄鉱石や石炭の産地に立地する原料指向型工業としてBの地域に発達した。なかでもドイツの<u>ルール地方</u>やイギリスの<u>ミッドランド地方</u>は石炭の産地として古くから製鉄業が盛んであった。しかし、近年は国内原料の枯渇や高コスト化、安価な輸入原料への依存などにより、先進国の製鉄業はAのような臨海指向型の工場立地に変化してきている。フランスの<u>フォス</u>や<u>ダンケルク</u>などがその好例である。</p> <p>※このほかBはロレーヌ（仏）、Aはカーディフ・ミドルスブラ（英）、ブレーメン（独）も可</p>	(20点)
	ア	<p>ビールの主要な原料である水はどこでも得ることができる普遍原料であり、製品の輸送コストを削減すること、市場の消費の動向を反映することを考慮し、大都市の近郊に立地する傾向が強い。東京や大阪といった大都市圏のほか、札幌、仙台、福岡などの地方中枢都市の周辺にも分布する。</p>	(5点)
(2)	イ	<p>IC製品は小型・軽量で付加価値が高いため、輸送費が高い航空機による運搬が可能である。工場は交通機関が整備された大都市近郊のほか、賃金や地代が安く良質な水が豊富に得られる東北地方や九州地方の空港周辺や高速道路沿いに集中しており、シリコンロードやシリコンアイランドと呼ばれてきた。近年はより賃金の安いASEAN諸国へ移転する工場も増えている。</p>	(5点)

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校（地理）【解答例】

受験校種	高	教科科目	地 理						得 点	
------	---	------	--------	--	--	--	--	--	--------	--

## 4（40点）

(1)	<p>図の中心から任意の地点までの距離と方位が正しく表される図法で、図の中心と任意の点を結ぶ直線は大圏航路を表す。輪郭は円で表現され、全球図の場合は、外周円は中心に対する対蹠点を示す。</p>	(10点)
(2)	<p>1997年の京都議定書に代わる気候変動に関する枠組み。2015年にパリで開催された気候変動枠組み条約の第21回締約国会議（COP21）で採択された。京都議定書では先進国だけに二酸化炭素の削減義務が課せられたが、パリ協定では発展途上国を含むすべての参加国が削減目標を定め、その達成に向けた国内政策を実施する義務を負った。</p>	(10点)
(3)	<p>オーストラリア南東部の地域開発計画。スノーウィー山地から東へ流れ出るスノーウィー川をダムで堰き止め、オーストラリアアルプス山脈をトンネルで抜き、西側のマリー川へ流す計画。マリー川の増水により小麦栽培の安定と家畜飼育の増大、電力供給の増加を目指す。</p>	(10点)
(4)	<p>連続する複数の都市が高速交通網や通信網で強固に結合され、全体が密接な相互関係を持ちながら活動している巨大な都市化地帯。フランスの地理学者ゴットマンが1964年にアメリカ合衆国北東部のボストンからワシントンD.C.までを示すのに用いた。日本では、首都圏から東海道地域を経て近畿圏にいたる带状地帯を東海道メガロポリスと呼んでいる。</p>	(10点)

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（地理）【解答例】

受験校種	高・特	教科科目	地 理						得 点	
------	-----	------	--------	--	--	--	--	--	--------	--

5（20点）

## 【単元（題材）の主題】

世界の時刻はどのように設定されているのか。時差と生活にはどのような関係があるか。

## 【授業の展開例】

## ○ 本時のねらい

- (1) グリニッジ標準時の設定について、歴史的背景に基づいて考察し、理解を深める。
- (2) 等時帯の設定について、各国や地域の社会的背景を踏まえ考察し、理解を深める。
- (3) 時差の計算をすることで、時差と生活の関係について考察し、地理的スキルを身につける。

## ○ 指導上の留意点

- (1) 生徒の主体的・対話的な学びを促すために、グループでの活動を取り入れる。
- (2) 複数の主題図や各種資料の分析、多面的・多角的に考察できるように配慮した授業展開を行う。

## ○ 具体的な展開例

## (1) 導入

ア グリニッジ標準時についての資料、等時帯を示した資料、時差の影響に関する資料をICTを用いて提示する。

イ 本時の学習主題である「世界の時刻はどのように設定されているのか。時差と生活にはどのような関係があるか」を設定する。

## (2) 展開

ア 各班に本時の主題を考察する主題図や資料を配付する。

※資料例 19世紀の世界の植民地の図、ヨーロッパ各国の貿易相手国の表、航空路線の時刻表に基づいた時差の計算シートなど

イ 各班では、配付資料をもとに学習主題についてグループで話し合い、学習シートにまとめる。

ウ 考察結果について、隣のグループと交互に発表する。

## (3) まとめ

ア 教員による説明で、生徒の発表を補足する。

イ 本時の学習を振り返りシートに記入する。